

# 葛城インターチェンジ付近の エリアとしての活用について

奈良県 葛城市

# 葛城インターチェンジ付近のエリアとしての活用

## 背景

- 奈良県社会教育センターが、令和3年4月をもって休館となり市内唯一の宿泊施設がなくなる一方、関西圏から車で約1時間と立地に優れ、自然あふれる県有資産の有効活用が課題
- 南阪奈道路葛城インターチェンジに隣接する道の駅かつらぎが開業5周年を迎え、順調に来客者数（年間約100万人）、売上ともに増加傾向（中南和を訪れる際の県内初めての道の駅）
- 當麻寺や相撲館など観光コンテンツ自体は存在するものの、通過型観光として地域経済への波及効果は低く、観光産業への転換が必要
- 奈良県社会教育センター近隣に、創業120年を超える市内老舗酒造会社（国内リキュール市場シェア約3割）が令和4年7月に移転したことをエリアとして賑わいを生み出せるチャンスと捉えている
- 一方、老朽化が進みつつある現存施設、平坦地の少ない広大な敷地、市街化調整区域による制限などにより、実現可能性の観点から考慮する必要がある

## まちづくりの方向性（案）

<まちづくりの方向性>

### 「葛城を感じる滞在型観光の創出」

- 関西圏からのアクセスの良さと自然を最大限活用
- 日帰りの通過型観光から滞在周遊型観光へ

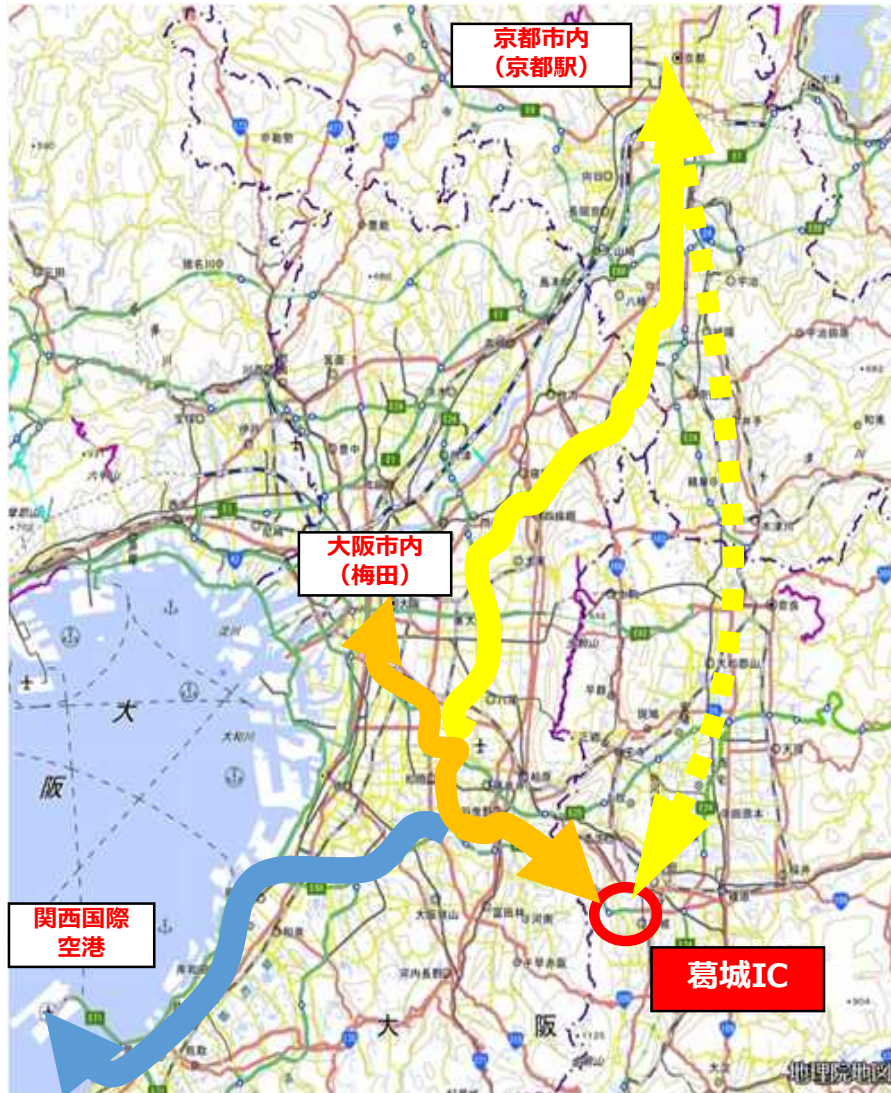
### 「中南和観光の西の玄関口として広域観光の促進」

- 奈良県の西の玄関口として、奈良県中南和の拠点となるようなにぎわいづくり
- 県中南和全体の観光入込客数の増加につなげる

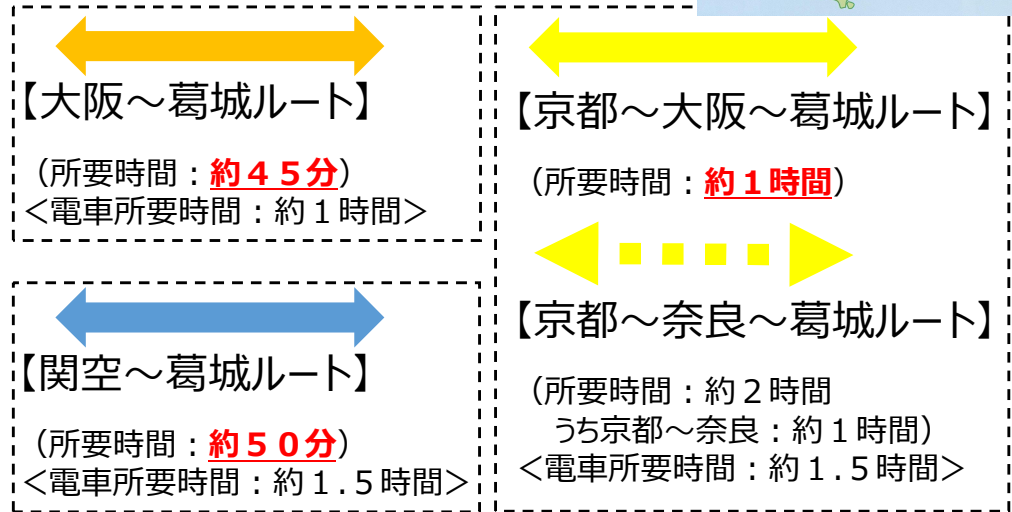
# 対象地区の位置図（広域図）



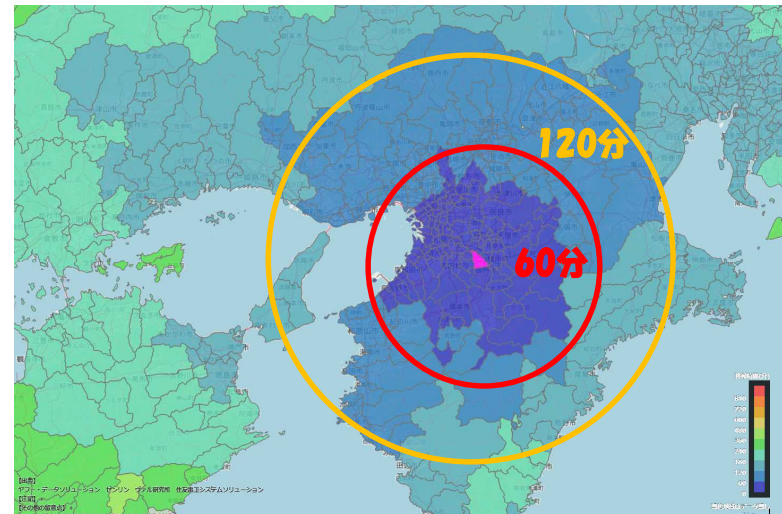
車で約1時間で奈良県内をはじめ、大阪、京都など関西圏から  
1,000万人以上をカバーできる可能性のある奈良県の西の玄関口



国土地理院の地理院地図を一部加工



<葛城市までの移動時間分析（車）>



RESASを一部加工







## 葛城を感じる滞在型観光の創出

### 【日帰りの通過型観光から滞在型観光へシフト】

- 社会教育センターエリアに自然を活かした宿泊施設を誘致
  - ・池のアクティビティ活用、道の駅と連携した地産地消などの検討
- 宿泊施設自体の魅力に加え泊まりたくなる仕掛けづくり
  - ・ナイトタイム観光、朝活、お酒の誘惑などの検討
- 飲食店、体験型観光、特産品の充実など地域経済への波及
- 歴史、自然、相撲といった葛城の魅力の情報発信強化

主に社会教育センターエリア

## 中南和観光の西の玄関口として広域観光の促進

### 【広域観光の融合によるwin-winの関係の創出】

- 中南和を訪れる際の初めての道の駅が新たに中南和の観光交流拠点（ハブ）へ
  - ・奈良県中南和を車で訪れる際、行きと帰りに葛城に降り立つ仕組みづくり
  - ・中南和の観光情報を集約し、ICTも活用し季節や目的に応じた情報の発信
  - ・ふらっと小旅行ができる環境、雰囲気づくり
- 広域観光の促進、拡充（現状：葛城地域観光協議会、大和まほろば相撲連絡協議会など）
- 観光交流拠点として他市町村と連携した特産品販売（マルシェ）の検討
- 新たな旅行商品の提案

※中南和とは…奈良県の中部・南部エリアのこと

道の駅かつらぎエリア

# 葛城市IC周辺地区のまちづくりの取組イメージ（案）

葛城市内の滞在型観光拠点と中南和の観光交流拠点の二刀流で好循環（渦）を生み出します。

・葛城市を目的地とするパターン（事前計画型）

・宿泊施設のみ予約し、葛城市に行ってから他市町村含めどこに行くか決めるパターン（現地計画型）

どちらの需要も満たせるような取り組みであったり、また、旅行の帰りにも道の駅かつらぎに寄っていただき、次の季節の観光情報を受信できれば、中南和へのリピーターを増やせるのではないかと考えています。

## 葛城を感じる 滞在型観光の創出

★泊まりたくなる仕掛け

《ナイトタイム観光》  
《朝活》  
《日本酒の誘惑》

★観光産業の確立

《飲食店の充実》  
《特産品発掘》

★葛城の魅力を満喫

《自然》  
《歴史遺産》  
《体験型観光》

道の駅かつらぎ

### 【中南和の観光交流拠点】

- ・デジタルサイネージ
- ・観光コンシェルジュ（人orロボット）
- ・中南和観光の予約管理（将来目標）

宿泊施設（社会教育C）

### 【葛城市の滞在型観光拠点】

- ・自然を活かした宿泊施設誘致
- ・広大な池のアドベンチャー活用
- ・地産地消の食事提供
- ・キャンプ×日本酒orリキュール

## 中南和観光の玄関口 として広域観光の促進

★広域観光の促進・拡充

《既存の広域観光》  
・葛城地域観光協議会  
・大和まほろば相撲連絡協議会  
・西の山辺の道（仮称）

★新たなツーリズムの提案

★中南和の観光紹介

世界遺産や  
（春）吉野山の桜  
（夏）キャニオニング  
（秋）曾爾高原のススキ  
（冬）樹氷

など、季節や目的地に合わせた  
観光紹介

★マルシェによる地元品の販売  
機会の創出

葛城ブランドの向上と観光産業の確立

中南和観光客数の増加